

## 第1号議案

### 令和5年度事業報告並びに収支決算の承認について

## 事業報告総論

### 1. 総括

令和5年度は、令和6年1月1日、能登半島沖で発生した能登半島地震は、石川県の能登地域に大きなダメージを与え、畜産関連では、牛舎の倒壊、断水、道路の寸断による飼料枯渇や牛乳の廃棄などの被害がでた。

福井県では、大きな被害は無かったが、1月に石川県で開催された合同枝肉販売会で、福井県の和牛去勢の平均販売価格は、1,162千円と前月平均より17.6%減少し、牛マルキンが発動するなど地震の影響が販売価格に現れたが、3月の北陸新幹線福井開業は、県内の畜産物の需要が見込める事から期待が高まっている。

しかしながら、円安やウクライナ戦争により生じた長期的な穀物の高騰は、県内の酪農経営や肉牛繁殖経営の離農や廃業をもたらしており、畜産経営の厳しい状況は続いている。

このような厳しい状況ではあるが、令和5年8月には、豚熱の発生で生産が停止していた福井県産ブランド畜産物「ふくいポーク」が復活し、当協会も協議会の一員として、消費拡大やPR等に尽力している。

こうした畜産を巡る情勢の中、本協会は、畜産関連業界・団体と行政の連携・調整役として重要な役割を担い、国、県、中央団体の補助事業を補完する団体として経営診断、価格補填、畜産クラスター事業、楽酪事業の窓口団体等、経営技術の効率的、効果的な支援事業により県内生産者の経営改善と基盤強化に取り組んだ。

特に、牛マルキンによる肥育農家への所得補填は、農家の経営安定に寄与したほか、畜産関連の機械導入を行う畜産クラスター事業や楽酪事業の実施により、畜産経営者へのセーフティネット構築や畜産経営者の新たな取り組みへの支援を実施した。

衛生指導事業では、高度化する生産体制の確立と、高品質な畜産物生産を確保するため、牛、豚、鶏に対する自衛防疫事業を強化するとともに、鳥インフルエンザの発生防止にも努めた。

家畜改良事業では、牛群検定、家畜登録および優良精液の利用推進を図り、乳用牛の改良と若狭牛の効率的生産に努めた。

また、福井県では、県営牧場でのふれあい体験学習を展開しており、協会も積極的に事業参加して消費拡大と畜産への理解推進を図った。

## 2. 総会等の開催状況及び組織

### 1) 総 会

開催年月日	議案とその議決事項
令和5年6月 定時総会 (令和5年6月29日)	第1号議案 令和4年度事業報告並びに収支決算の承認について 第2号議案 任期满了に伴う役員を選任について
第70回通常総会 (令和6年3月25日)	第1号議案 令和5年度収支予算の補正について 第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算計画について 第3号議案 賦課金等の金額および賦課方法・徴収時期について 第4号議案 借入金の最高限度額および借入先について

### 2) 理 事 会

開催年月日	議題とその議決事項
令和5年6月 理事会 (令和5年6月13日)	1. 令和5年6月定時総会の開催日程等について 2. 令和5年6月定時総会提出議案の審議について
令和6年3月 理事会 (令和6年3月12日)	1. 第70回通常総会の開催日程等について 2. 第70回通常総会提出議案の審議について 3. 服務規程の一部改正について 4. 酪農ヘルパー事業に係る業務規程の制定について

### 3) 監事会

開催年月日	議案とその議決事項
令和5年5月 (令和5年5月19日)	1. 令和4年度における事業実施状況・会計決算についての 監査

4) 組 織

(1) 会 員

ア. 正 会 員

	年度始 現在数	本年度 増加数	本年度 減少数	年度末 現在数	備 考
各 J A	2			2	
J A福井県中央会	1			1	
J A福井県信連	1			1	
J A福井県経済連	1			1	
全共連福井県本部	1			1	
各市町	0			0	
畜産団体	7			7	農業共済組合 県肉用牛協会 県養鶏協会 県獣医師会 県家畜改良協会 県酪農農協連 県和牛生産振興会
福井県	1			1	
合 計	14	0	0	14	

イ. 準会員

なし

## (2) 機 構

## ア. 役 員

(R6.3.31 現在)

役職名	氏 名	所属・役職名
会長理事	宮田 幸一	J A福井県中央会・会長
理 事	島崎 昭彦 東川 継央 岡田 高大 坂田 和洋 瓦 惣一	J A福井県・理事 (福井) J A福井県・理事 (坂井・奥越) J A福井県・理事 (県域) 福井県農業共済組合・専務理事 福井県和牛生産振興会・会長
代表監事	長谷川 武彦	J A福井県・理事 (県域)
監 事	坂下 憲治	J A福井県・理事 (県域)

## イ. 職 員

職 名	年度始 人員	本年度中の移動		年度末 人員	備 考	
		任用	解任			
一 般 職 員	事 務 局 長 (総括畜産コンサルタント)	1	0	0	1	
	総括畜産コンサルタント	0	1	0	1	
	畜産コンサルタント	2	0	0	2	
	事 務 職 員	1	0	0	1	
計	4	1	0	5		

## 事業体系図

畜産振興に関する事業	(1) 家畜改良繁殖推進事業 (2) 家畜改良繁殖推進事業 (3) 乳用種雄牛後代検定事業 (4) 酪農緊急パワーアップ事業（乳用牛繁殖効率化推進事業） (5) 畜産経営技術指導事業 (6) 畜産経営技術高度化支援指導事業 (7) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入） (8) 酪農緊急パワーアップ事業（酪農労働省力化対策事業） (9) 畜産経営体生産性向上緊急対策事業 (10) 地域畜産支援指導等体制強化事業 (11) 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業	福井県補助事業 福井県委託事業 家畜改良事業団委託事業 家畜改良事業団補助 地方競馬全国協会補助事業 福井県補助事業 中央畜産会委託 中央畜産会委託 中央畜産会委託 中央畜産会委託 日本畜産物輸出促進協会委託
価格差補填金の交付に関する事業	(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業	農畜産業振興機構業務委託
家畜の伝染性疾病の予防、生産衛生に関する事業	(1) 家畜防疫互助基金支援事業 (2) 獣医師養成確保修学資金給付事業	中央畜産会委託 国庫、福井県補助事業
その他の事業	(1) 家畜登録事業 (2) 家畜衛生業務委託事業 (3) ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業 (4) 畜産試験場 家畜飼養管理等業務委託事業 (5) 畜産関連書籍等取扱事業 (6) 消費拡大事業 (7) 地域活性化応援事業	独自事業 福井県業務委託事業 福井県業務委託事業 福井県業務委託事業 独自事業 独自事業 独自事業

## 実施事業

### 1 畜産振興に関する事業

本事業は、県内畜産農家が、消費者へ継続的かつ安定的に畜産物を供給できるようにするために、畜産農家の生産技術向上及び経営技術習得を指導する事業であり、下記の事業を実施した。

#### 1) 畜産農家の生産技術向上に対する事業で、家畜の改良や改良に必要な情報収集を実施する事業

##### (1) 家畜改良繁殖推進事業【福井県補助事業：626,000円】

乳用雌牛群の効率的かつ総合的な能力検定の推進により、優良乳用雌牛群の選抜確保と能力に応じた利用および効率的な飼育管理ならびに検定済種雄牛の計画的増頭を図るため、乳用雌牛の飼育農家を対象に検定雄牛および後代検定材料牛の検定の実施、記録の収集ならびに検定成績による指導を12戸399頭実施した。

##### (2) 家畜改良繁殖推進事業【福井県委託事業：162,000円】

乳用牛群検定の普及定着及び後代検定による乳用牛の能力向上を図るため、全国の牛群情報を収集すると共に、データーを集計分析し、農家指導等県段階の事業推進に努めた。

##### (3) 乳用種雄牛後代検定事業【家畜改良事業団委託事業：20,204円】

後代検定事業推進のため調整交配の促進、後代検定娘牛受胎奨励に努めた。

##### (4) 酪農緊急パワーアップ事業（乳用牛繁殖効率化推進事業）【家畜改良事業団補助事業：18,000円】

性選別精液及び調整交配用精液の活用を実践する酪農家に対して、乳用種雄子牛の出生頭数に応じて奨励金の交付を行った。2戸 3頭。

#### 2) 畜産農家の経営診断および改善指導、消費者に対する畜産物の情報提供により畜産振興を図る事業

##### (1) 畜産経営技術指導事業【地方競馬全国協会補助事業：12,573,000円】

畜産経営の支援体制、地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の供給に資するための体制、馬事普及啓発の推進体制の強化と地域での畜産振興を図った。

##### (2) 畜産経営技術高度化支援指導事業【福井県補助事業：890,000円】

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を早急に育成するために、畜産農家同士の切磋琢磨のなかで、自ら経営改善に取り組む意欲・努力を助長するとともに、指導体制および指導手段・内容の充実を図ることにより、畜産農家の経営

技術の高度化に対する支援・指導を総合的に実施した。

(1) 畜産農家に対する情経営技術高度化指導（個別指導）

①先進経営育成のための集合研修	6回
②経営計画の作成指導	24回
③経営改善のためのフォローアップ指導	19回
④生産技術の改善指導	15回

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入）【中央畜産会委託事業：459,985円】

地域の畜産関係者が有機的に連携し、地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスター計画の中心的な経営体に対し、収益力の強化等に必要な機械のリース導入について、事業実施手続き等の効率化および事業実施体制の強化を図った。

(4) 酪農緊急パワーアップ事業（酪農労働省力化対策事業）【中央畜産会委託事業：129,085円】

酪農経営における働き方改革の実現を一層加速化するため、酪農家による省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(5) 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）【中央畜産会委託事業：128,988円】

酪農家や肉用牛農家に対して、省力化（労働負担軽減）・生産性向上を図ることを目的にICT化等の新技術を活用した機械装置の導入を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(6) 地域畜産支援指導等体制強化事業【中央畜産会委託事業：2,145,730円】

現下の畜産をめぐる厳しい内外環境に対処するため、畜産行政との緊密な連携のもと畜産関係団体の連携及び活性化を図り、畜産経営者等からの各種相談に応じる畜産経営相談窓口となり、支援を行うことにより畜産振興を図った。

(7) 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業【日本畜産物輸出促進協会委託事業：213,419円】

畜産物の輸出拡大のため、畜産物輸出に対する生産者へ理解醸成や意識向上を図るパンフレット等の普及啓発資料の配布を行った。

## 2 畜産経営の安定のための価格差補填金の交付に関する事業

本事業は、県内肥育牛生産者が、安定的に経営を継続していけるように販売した肉用牛に対する価格差補てんをする事業であり、下記の事業を実施した。

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

畜産経営の安定に関する法律（昭和36年法律第183号）に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付することで、肉用牛肥育経営の安定を図った。なお、当協会は農林水産大臣が指定する積立金管理者として、負担金を適切に管理した。

(ア) 令和6年3月31日現在 契約戸数：21戸

(イ) 肉用牛交付金交付実績

(単位：人、頭、円)

区 分	品種区分	交付対象		交付金額	うち機構交付金	うち積立金
		人数	頭数			
合 計	肉専用種	47	165	5,302,926	3,977,177	1,325,749
	交雑種	48	243	9,377,169	7,032,860	2,344,309
	乳用種	2	2	91,091	68,318	22,773
	小 計	97	410	14,771,186	11,078,355	3,692,831

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業【農畜産業振興機構委託：5,794,245円】

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務を、円滑に実施した。なお、標記制度委託要綱第4に基づき、事務の一部を下記の事務委託先へ委託して実施した。

福井県農業協同組合、福井県経済農業協同組合連合会、北陸配合飼料価格安定基金協会

### 3 家畜の伝染性疾病の予防、生産衛生に関する事業

安全安心な畜産物を生産・提供するための家畜疾病予防対策や家畜衛生指導を行った。

(1) 家畜防疫互助基金支援事業【中央畜産会委託事業：198,264円】

口蹄疫、豚コレラ等の悪性伝染病が発生した場合に備え、生産者等が損失を互助補償するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、家畜防疫互助事業への加入を推進した。

(2) 獣医師養成確保修学資金給付事業【国庫補助事業：730,000円、福井県負担 600,000円】

令和5年度福井県獣医師確保修学資金給付者選考委員会（令和5年6月14日）において1名の修学生候補者を選考し、修学資金を給付した。（10万円/月）

### 4 その他の事業

1) 家畜改良の促進を図るために、家畜の登録事業を行う事業

家畜の改良増殖、生産効率向上のため、県内の酪農家で生まれた子牛の遺伝的な情報を登録し、近親交配・遺伝的不良形質をもった牛の生産を回避するための家畜登録を推進した。



(1) 家畜登録事業【独自事業：944,470円】

自動登録	115頭	血統登録	7頭
遺伝子型検査	43頭	更正	1頭

自動登録を推進し、登録の普及啓蒙を図った。

2) 県内畜産公共施設での家畜衛生業務や消費者への体験学習業務により、家畜衛生の向上や畜産の普及啓発を図る事業

県内畜産公共施設において、家畜衛生業務の速やかな実行のための業務員配置、消費者の畜産知識の向上を図るための体験ガイド配置および家畜飼養管理等のための業務員配置を行うことにより、家畜衛生および畜産の普及啓発等の向上を図った。

(1) 家畜衛生業務委託事業【福井県業務委託事業：3,982,000円】

牛海綿状脳症（BSE）の浸潤状況および防疫対策を検証するため、死亡牛の適正処理とBSE検査を円滑に行えるよう、死亡牛等の解剖補助・処理の業務を行い、良好な家畜衛生業務及び環境維持に努めた。

(2) ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業【福井県業務委託事業：10,767,900円】

畜産試験場等の公営畜産施設において業務員を配置し、ふれあい牧場の施設管理、家畜の管理をするとともに、動物とのふれあいや体験学習の案内及び畜産に対する理解醸成に努めた。

体験学習実施 45団体 1,734人 見学者対応 27,090人

(3) 畜産試験場家畜飼養管理等業務委託事業【福井県業務委託事業：13,750,000円】

畜産試験場において業務員を配置し、家畜の飼養管理等を行うことで、試験研究等の業務補助に努めた。

3) 畜産振興に係る技術指導等

消費者と家畜とのふれあいを図るため、放牧管理やハウス養豚の技術支援や、畜産物の消費拡大イベントの共催、地方競馬のPR等を実施し、畜産の振興を図った。

(1) 畜産関連書籍等取扱事業【独自事業：108,350円】

中央畜産会の発行する出版物を斡旋し、畜産生産者・関係者への確かな情報提供を行った。

(2) 消費拡大事業【独自事業：160,000円】

県内畜産物の消費を拡大するため、県や農業団体のイベント等に参加し、畜産物の配布やPRを行った。

(3) 地域活性化応援事業【独自事業：3,336,351円】

福井農林高校での放牧指導の継続、ハウス養豚への支援指導及び外部講師によるWEBセミナーの実施により地域畜産の振興に努めた。

また、県内公共牧場や各種イベントにおいて、県産畜産物のアピールと併せて地方競馬グッズを配布し、地方競馬のPRを実施した。

## 一般指導および畜産振興にかかる諸事業

関係機関・団体との緊密な連携のもとに、必要に即し畜産経営指導および経営能力向上等の指導に努めるとともに、各畜産共進会等への協力と優秀入賞家畜飼養者に対する褒賞等を行い、畜産農家の生産技術と意欲の高揚促進に努めた。

また、各関係機関・団体等における各畜産振興事業に対し積極的に協力するとともに、本県畜産の安定的発展に努めた。

(各畜産共進会等に対する褒賞状況)

共進会名	開催年月日	褒賞
第30回福井県肉牛枝肉共励会	令和5年12月4日	賞状および副賞

# 貸借対照表

令和6年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	5,000,085	6,242,268	△ 1,242,183
未 収 金 用	7,756,829	7,459,136	297,693
前 払 費 用	217,955	59,230	158,725
流動資産合計	12,974,869	13,760,634	△ 785,765
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	35,400,000	33,800,000	1,600,000
肥 育 安 定 基 金 預 金	15,455,690	11,445,521	4,010,169
特定資産合計	50,855,690	45,245,521	5,610,169
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	50,855,690	45,245,521	5,610,169
資産合計	63,830,559	59,006,155	4,824,404
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	3,365,121	4,827,546	△ 1,462,425
前 受 金	0	355,162	△ 355,162
預 り 金	768,007	357,807	410,200
未 払 消 費 税 等	2,205,915	1,719,981	485,934
流動負債合計	6,339,043	7,260,496	△ 921,453
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	35,400,000	33,800,000	1,600,000
肥 育 安 定 基 金	15,455,690	11,445,521	4,010,169
固定負債合計	50,855,690	45,245,521	5,610,169
負債合計	57,194,733	52,506,017	4,688,716
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	6,635,826	6,500,138	135,688
一般正味財産合計	6,635,826	6,500,138	135,688
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	6,635,826	6,500,138	135,688
負債及び正味財産合計	63,830,559	59,006,155	4,824,404

# 正味財産増減計算書

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
賦 課 金	3,552,000	3,743,500	△ 191,500
賦 課 金	3,552,000	3,743,500	△ 191,500
事 業 収 益	944,470	9,405,150	△ 8,460,680
家 畜 登 録 事 業 収 益	944,470	847,700	96,770
精 液 取 扱 事 業 収 益	0	8,557,450	△ 8,557,450
受 取 補 助 金 等	52,802,980	48,654,870	4,148,110
獣 医 師 養 成 確 保 修 学 資 金 給 付 事 業 費	730,000	118,197	611,803
家 畜 改 良 繁 殖 推 進 事 業 ( 補 助 金 )	626,000	626,000	0
畜 産 経 営 技 術 高 度 化 支 援 指 導 事 業 費	890,000	890,000	0
畜 産 経 営 技 術 指 導 事 業	12,573,000	9,268,000	3,305,000
家 畜 改 良 事 業 団 補 助 金 ( 奨 励 金 )	0	237,462	△ 237,462
酪 農 緊 急 ハ ラ ー ア ッ プ 事 業 ( 乳 用 牛 繁 殖 効 率 化 )	18,000	0	18,000
日 本 ホ ル ス タ イ ン 登 録 協 会 補 助 金 ( 還 元 金 )	214,160	200,860	13,300
家 畜 衛 生 業 務 委 託 事 業 費	3,982,000	3,982,000	0
家 畜 改 良 繁 殖 推 進 事 業 費 ( 委 託 )	162,000	162,000	0
ふ れ あ い 畜 産 体 験 学 習 等 案 内 業 務 委 託 事 業 費	10,767,900	10,959,300	△ 191,400
畜 産 試 験 場 家 畜 飼 養 管 理 等 業 務 委 託 事 業 費	13,750,000	13,750,000	0
肉 用 牛 肥 育 経 営 安 定 交 付 金 制 度 業 務 委 託 事 業	5,794,245	5,537,858	256,387
家 畜 防 疫 互 助 基 金 支 援 事 業 費	198,264	131,028	67,236
畜 産 ・ 酪 農 収 益 力 強 化 整 備 等 特 別 対 策 事 業 費	459,985	347,450	112,535
酪 農 労 働 省 力 化 推 進 施 設 等 緊 急 整 備 対 策 事 業	0	124,084	△ 124,084
酪 農 緊 急 ハ ラ ー ア ッ プ 事 業 ( 酪 農 労 働 省 力 化 対 策 )	129,085	0	129,085
畜 産 経 営 体 生 産 性 向 上 対 策 事 業	128,988	132,267	△ 3,279
地 域 畜 産 支 援 指 導 等 体 制 強 化 事 業 費	2,145,730	2,165,308	△ 19,578
畜 産 物 輸 出 対 応 生 産 円 滑 化 緊 急 対 策 事 業 費	213,419	0	213,419
乳 用 種 雄 牛 後 代 検 定 事 業 費	20,204	23,056	△ 2,852
受 取 負 担 金	2,597,495	2,229,912	367,583
牛 群 検 定 賦 課 金	1,997,495	2,229,912	△ 232,417
福 井 県 獣 医 師 確 保 修 学 資 金 共 同 負 担 金	600,000	0	600,000
受 取 手 数 料	984,500	1,057,100	△ 72,600
受 取 協 会 事 務 手 数 料	984,500	1,057,100	△ 72,600
雑 収 益	590,978	210,576	380,402
受 取 利 息	670	642	28
雑 収 益	590,308	209,934	380,374
指 定 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	3,692,831	1,578,753	2,114,078
経 常 収 益 計	65,165,254	66,879,861	△ 1,714,607
(2) 経常費用			
事 業 費	59,689,079	60,139,480	△ 450,401
給 料 手 当	22,749,597	19,242,400	3,507,197
臨 時 雇 賃 金	927,000	930,000	△ 3,000
退 職 給 付 費 用	1,600,000	1,500,000	100,000
法 定 福 利 費	3,703,826	3,062,885	640,941
旅 費 交 通 費	1,069,279	590,143	479,136
通 信 運 搬 費	817,819	969,184	△ 151,365
事 務 消 耗 品 費	454,451	285,242	169,209
印 刷 製 本 費	27,803	27,745	58
賃 借 料	511,500	419,750	91,750
保 険 料	87,060	97,760	△ 10,700
租 税 公 課	1,273,934	925,622	348,312
支 払 負 担 金	729,907	848,184	△ 118,277
家 畜 登 録 事 業 費	864,280	771,910	92,370

科 目	当年度	前年度	増 減
精液取扱事業費	0	7,242,873	△ 7,242,873
支払助成金	3,692,831	1,578,753	2,114,078
支払補助金	1,218,000	0	1,218,000
委託費	19,529,880	20,702,140	△ 1,172,260
雑費	431,912	944,889	△ 512,977
管理費	5,331,487	6,616,254	△ 1,284,767
給料手当	69,963	111,048	△ 41,085
臨時雇賃金	3,000	0	3,000
法定福利費	14,074	19,457	△ 5,383
会議費	332,654	304,534	28,120
旅費交通費	15,346	68,003	△ 52,657
通信運搬費	40,883	28,938	11,945
事務消耗品費	53,880	7,473	46,407
印刷製本費	1,788	1,782	6
賃借料	100,140	65,675	34,465
事務所費	2,016,000	2,056,295	△ 40,295
慶弔費	0	31,000	△ 31,000
租税公課	877,550	967,100	△ 89,550
支払負担金	749,550	1,821,550	△ 1,072,000
雑費	1,056,659	1,133,399	△ 76,740
畜産振興費	9,000	9,000	0
畜産振興費	9,000	9,000	0
経常費用計	65,029,566	66,764,734	△ 1,735,168
評価損益等調整前当期経常増減額	135,688	115,127	20,561
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	135,688	115,127	20,561
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指定正味財産からの振替額	0	15,686,877	△ 15,686,877
経常外収益計	0	15,686,877	△ 15,686,877
(2) 経常外費用			
返戻金	0	15,686,877	△ 15,686,877
肥育安定基金	0	15,686,877	△ 15,686,877
経常外費用計	0	15,686,877	△ 15,686,877
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	135,688	115,127	20,561
一般正味財産期首残高	6,500,138	6,385,011	115,127
一般正味財産期末残高	6,635,826	6,500,138	135,688
II 指定正味財産増減の部			
受取積立金	7,703,000	12,937,000	△ 5,234,000
生産者積立金	7,703,000	12,937,000	△ 5,234,000
基金取崩額	3,692,831	17,265,630	△ 13,572,799
基金繰入額	7,703,000	12,937,000	△ 5,234,000
一般正味財産への振替額	△ 3,692,831	△ 17,265,630	13,572,799
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	6,635,826	6,500,138	135,688

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給債務額に相当する金額を計上している。

#### (2) リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、通常の賃貸借処理取引に係る方法に準じた会計処理による。

#### (3) 消費税等の会計処理

税込方式で計上している。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	33,800,000	1,600,000	0	35,400,000
肥育安定基金預金	11,445,521	7,703,000	3,692,831	15,455,690
小 計	45,245,521	9,303,000	3,692,831	50,855,690
合 計	45,245,521	9,303,000	3,692,831	50,855,690

### 3 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金からの充当額)	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産					
小 計	0	0	0	0	0
特定資産					
退職給付引当資産	35,400,000				35,400,000
肥育安定基金預金	15,455,690				15,455,690
小 計	50,855,690	0	0	0	50,855,690
合 計	50,855,690	0	0	0	50,855,690

### 4 担保にしている資産 なし

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
獣医師養成確保修学資金給付事業	農林水産省	0	730,000	730,000	0	
家畜改良繁殖推進事業	福井県	0	626,000	626,000	0	
畜産経営技術高度化支援指導事業	福井県	0	890,000	890,000	0	
畜産経営技術指導事業	地方競馬全国協会	0	12,573,000	12,573,000	0	
酪農緊急パワーアップ事業(乳用牛繁殖効率化推進事業)	家畜改良事業団	0	18,000	18,000	0	
合 計		0	14,837,000	14,837,000	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産運用益振替額	0
肥育牛補填金支払に係る振替額	3,692,831
経常外収益への振替額	
肥育安定基金返戻金	0
合 計	3,692,831